

下都賀地区校長会

下都賀地区は、壬生町、野木町、小山市、栃木市（栃木市、大平町、藤岡町、都賀町、西方町、岩舟町）、下野市（南河内町、石橋町、国分寺町）の2町3市からなり、小学校82校、中学校33校、学校総数115校と、県内でも最も多くの学校を抱える地区です。

※（ ）内は合併前の旧市町名

下都賀地区小中学校長連絡協議会（以下、下連教）という名称で活動をしています。小中学校長が一堂に会する場合は、年に2回あり、年度初めの総会並びに研修会と例年6月中旬頃実施される教育講演会を実施しています。教育講演会では、時の教育問題や学校経営上喫緊の課題を踏まえた講演会となるよう企画・運営を行っています。例を挙げると、昨年度（H25）は、部活動における体罰問題を受け「教諭す 部活動指導」という演題で文部科学省スポーツ青少年局体育参事官より、今年度（H26）は、通常学級における特別支援教育の重要性に鑑み「発達

障害のある児童生徒に管理職はどうかかわるか」という内容で白鷗大学教育学部発達科学科の専任講師よりお話を聞きました。

小中合同の全体研修とは別に、中学校部会を年に2回、教育事務所主催の校長研修会同日の午前中に開催しています。中文連関係や学体連関係の運営や活動に係る報告をはじめとする様々な内容について、33校の中学校長が意見交換をしながら、共通理解を図る貴重な場となっています。

特に今年度は、「練習試合や合同練習中における重大事故」への対応等について、下地区学体連研修会での協議内容が具体的な事例とともに報告され、あらためて生徒の大切な命を預かっている学校の責任の重さを痛感しました。また、学校の責任を果たすために必要となる予防的対応の具体や、万が一にも重大事故が発生した場合の学体連事務局を含めた報・連・相の重要性を確認できたことなど、貴重な時間となりました。

[小山市立大谷中学校長 佐藤 義明]

私の学校経営

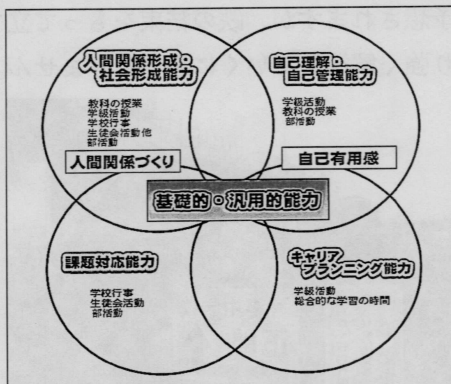
キャリア教育の基礎的・汎用的
能力の育成を目指して

鹿沼市立北犬飼中学校長 吉田 正 順

学 校 課 題

夢や目標をもち、その実現に向けて
自ら努力できる生徒の育成
～キャリア教育の意図的・継続的推進を通して～

「夢や目標をもち、その実現に向けて自ら努力できる生徒の育成～キャリア教育の意図的・継続的推進を通して～」が、学校経営の柱です。具体的には、キャリア教育の基礎的・汎用的能力を育成できる場を下記のように捉え、教職員一人一人が意識して教育活動を展開できること、子どもの成長やがんばりを認められることを目指しています。

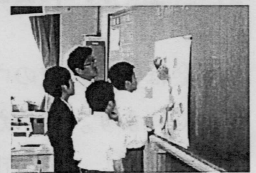


基礎的・汎用的能力と教育活動

【具体的な取組】

(1) 人間関係づくりを目指した活動

- ・エンカウンター of 積極的活用 学年集会、学級活動、朝の会や帰りの会等
- ・地域の方々との交流を通して 総合的な学習の時間、外部講師による授業、生徒会委員会活動等
- ・職員同士によるエンカウンターの実施 毎回職員会議等の開始時に順番に担当し実施



(2) 自己有用感を高める活動

- ・教師の言葉かけ
- ・人の役に立っていることを実感させる活動 地域の方々との交流、各行事での活躍・貢献等から 日常の生徒の活動を(1)(2)の視点をもって指導・支援できるように職員一同で努力しています。

(3) ハローワーク職員によるキャリア教育講話（キャリアプランニング能力、人間関係・社会形成能力）

総合的な学習の時間：キャリア教育プログラム

～会社づくりゲーム～

【生徒の感想】

- ・社会で立派に生活するためにはコミュニケーション能力が必要だということがわかり、とてもためになった。
- ・社会の中で生きていくため 社長役の生徒へのインタビューに、自分に合った職業の選び方についてわかった。

